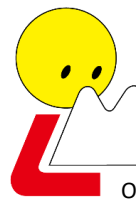


総務省地域情報化アドバイザー優良事業事例

優良事業事例団体

団体名:

- 人口 : 2,726,925人(平成31年3月1日現在推計)
- 面積 : 225.30平方キロメートル
- 主な産業 : 卸売・小売業、サービス業、情報通信業、製造業等、多様な産業が集積
- 地域情報化アドバイザー名 : 岡本 真氏
- 派遣対応年度 : 平成29年度
- 派遣回数 : 3回
- 支援形態 : 個別アドバイス
- 支援分野 : 教育/子育て、オープンデータ



OMLIN(オムリン)
大阪市立図書館トータルイメージマーク

優良事業概要

- 事業名: 大阪市立図書館デジタルアーカイブオープンデータ利活用推進
- 事業の概要: 大阪市立図書館では、劣化の激しい古文書資料の保存の観点から、近世の大阪に関する古文書、明治期から戦前にかけての絵はがきや写真等の画像を図書館内の利用者用端末やホームページ上で公開しています。平成29年3月には、「大阪市オープンデータの取り組みに関する指針」並びに「大阪市ICT戦略」に則り、地域経済に資することを目的に当館デジタルアーカイブのコンテンツの中から著作権が消滅した地域資料6,900点をオープンデータとして提供しました。オープンデータ化開始以降も、オープンデータ関連の展示や画像の人気投票、活用講座などを継続して開催し、市民に向けて周知を図っています。
- 依頼内容: オープンデータについての理解を深め、今後の利活用の展開について再考するとともに、オープンデータを活用した事業展開案や利活用に向けての効果的な広報方法等の指導・助言をいただき、取り組みの立案に活用します。

地域情報化アドバイザーから受けた支援内容

- 支援を受けた内容: 図書館職員で構成されたオープンデータ活用事業検討チームのメンバーが、オープンデータの周知のための新たな仕組みづくり、コミュニティづくりについて事前調査を行い、SNS等の有効活用、運用方針の見直しや海外向けのアピール手法についても具体的な助言をいただきました。また、職員向け研修ではオープンデータとオープンガバナンスの考え方について改めて学習する機会を得ることができ、市民向けの講座では、当館のオープンデータの周知はもちろんのこと、利活用の新たな展開の可能性をご教示いただきました。



職員向け研修風景



市民向け講座風景

支援を受けた事業の最新状況

■広報活動について、ご助言いただいた内容を踏まえて検討を進めました。当館デジタルアーカイブでは、画像活用の観点での検索用キーワードが不足しているため、補完することを目的に、ツイッター公式アカウントを活用し、「#大阪オープンデータ」と検索用のキーワードとなるハッシュタグを付けて、「今日一枚」として画像を投稿することにしました。「今日一枚」のツイートへの「いいね！」数、投稿のインプレッション数は他のツイートよりも多く、よくご覧いただいていることがわかります。また、ツイッターをはじめから数年経過、ツイッターのフォロワー数が伸び悩んでいましたが、「今日一枚」の投稿を始めて10か月で、フォロワー数が約15%も増加しました。

大阪市立図書館職員向けの研修で、オープンデータとオープンガバナンスについてご講義いただき、職員間で課題の共有・再認識ができました。大阪市立図書館全館で関連展示の実施やオープンデータを周知する催しなど、取り組みを進めていく方向性を確認できました。

また、市民向けの講座では、民間でオープンデータ活用を実践されているゲストをお招きし、当館のオープンデータの今後の活用方法について、参加された一般の方と対話しながら検討することができました。平成31年3月には、オープンデータ画像の今後の活用の可能性を広げることを目的に、民間企業とのマルチパートナーシップによる連携協定書を締結しました。今後、企業や研究者と連携して、活用のためのキーワードや地名・位置情報などのメタデータの豊富化やマーケットでの活用、資金調達方法等も含めて検討を進めてまいります。

平成28年度のオープンデータ化に関わってご助言いただいた内容も踏まえ、オープンデータ開始以降も利活用推進に関する取り組みを継続して実施し、オープンデータの活用事例も徐々に蓄積しています。こうした取り組みを評価していただき、ICT地域活性化大賞2019優秀賞、2018年度勝手表彰貢献賞(VLED)を受賞しました。



ICT地域活性化大賞2019優秀賞表彰状

地域情報化アドバイザー制度を知るきっかけ

■平成28年に図書館職員等を対象とした研修に参加した際に、岡本アドバイザーに当館の課題について話題にしたところ、地域情報化アドバイザー制度について教えていただきました。前年の内容を踏まえつつ実施している事業であり、津山市や瀬戸内市での実績もあることから、平成28年度に引き続き、29年度もお願いすることにしました。

地域情報化アドバイザー制度に関する評価・感想

■評価・感想 :アドバイザーは豊富な知識をお持ちで、職員向け研修および市民向け講座ともに参加者の満足度が高く、理解も深まったと感じています。

当館が抱える課題を整理していただき、非常に有益なご助言をいただけました。アドバイス内容を反映した取り組みについては、数字としても効果が現れています。またICT地域活性化大賞2019優秀賞などの外部評価もいただき、実施する職員のモチベーションアップにもつながっています。助言・指導いただきました内容を基に、今後とも引き続き取り組みを継続してまいります。